



イスラエルの入植地とは何だろう

エルサレムでのパレスチナ人住戸明渡判決を巡る騒動、ガザ地区への砲撃、ミサイルでの攻撃、それはイスラエルの「入植」と深い関係がある。

入植地はヨルダン川西岸のパレスチナ自治区内に点在。高い塙で、パレスチナ人は入れない。入植地とイスラエルを結ぶ道にも高い塙。パレスチナ人は自由に横切る事もできない。「入植地」と云うと、無人の地の開墾のように聞こえるが、パレスチナ人の村や畑があった。男は殺され、老人、女、子供は難民に。

イスラエルの首都、テルアビブはパレスチナ人のムワンニス村の廃墟の上にある。

日本にもある同様の地

実は日本にも同様の所がある。例えば沖縄の普天間基地や米軍住宅地。先の大戦で米軍は沖縄を占領。住民を収容所に収容。家も農地もお墓も全てブルドーザーで平ならしに。

食料支給の収容所から出されても、自分の家に戻れない。農地も無い。何処にも行けない。生きて行くには米軍で働くしか無い。基地の周りに密集して住むことに。これは実はパレスチナ難民キャンプと変わらない。

住民を難民にして建国

イスラエル人のイラン・パペの書いた「パレスチナの民族浄化」や、藤原亮司の「ガザの空の下」等から学んだ。

元々住んでいたパレスチナ人の多くを難民として追い払い、イスラエルは建国された。

あなたはどう思われますか？

金目川

神奈川県平塚市入野

二〇二一年五月



バラや季節の花々が咲く花菜ガーデン(花と緑のふれあいセンター)の近くを金目川は流れる。

大山南西斜面から秦野盆地に流れ出て旧金目村(平塚市金目地区)を流れるのが名前の由来。下流域は大磯町との境界を成している。岸辺に桜が多いので「花水川」と呼ばれる。

今年の梅雨入りは早い。雲が低く垂れ込め大山や丹沢の山々は見えない。

川は大山からの土砂を運び蛇行する。流れがしばしば変わる暴れ川であった。

それに住民は団結して対処。自由民権運動の礎となった。

一八八〇年(明治13年)には戸主の八割が国会開設請願に署名。

近くの光明寺には「自由民権の里」の案内図がある。

「自由民権の里」の案内図がある。

